

令和6年度大気汚染の状況

光化学スモッグ予報・注意報が発令された夏季に光化学オキシダント (0x) の測定値が環境基準に不適合の日がありましたが、その他は環境基準に適合していました。

項目	環境基準	評価に用いる測定値	測定結果	
			門真市役所局	門真市南局
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでのゾーン内またはそれ以下	1日平均値の年間98%値※1	0.030 ppm	0.030 ppm
二酸化硫黄 (SO ₂)	1日平均値が0.04 ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1 ppm以下	1日平均値の年間2%除外値※2	0.002 ppm	0.002 ppm
		1時間値	0.1 ppm以下	0.1 ppm以下
光化学オキシダント (0x)	1時間値が0.06 ppm以下	1時間値	1時間値が0.06 ppmを超えた時間数 319時間	1時間値が0.06 ppmを超えた時間数 354時間
浮遊粒子状物質 (SPM)	1日平均値が0.10 mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m ³ 以下	1日平均値の年間2%除外値※2	0.035 mg/m ³	0.032 mg/m ³
		1時間値	0.20 mg/m ³ 以下	0.20 mg/m ³ 以下
一酸化炭素 (CO)	1日平均値が10 ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20 ppm以下	1日平均値の年間2%除外値※2	0.5 ppm 20 ppm以下	20 ppm以下
		1時間値の8時間平均値		
ダイオキシン類 大気	年間平均値が0.6 pg-TEQ/m ³ 以下	年間の平均値	0.016 pg-TEQ/m ³	0.011 pg-TEQ/m ³

※1 1日平均値の年間98%値とは、1年間の1日平均値を数値の低い方から並べて98%に該当する値

※2 1日平均値の年間2%除外値とは、1年間の1日平均値を数値の高い方から並べて2%の範囲内にあるものを除外した残りの最高値。

令和6年度水質汚濁の状況

「生活環境の保全に関する項目」では、古川の溶存酸素量が環境基準(※1)に不適合でした。また、古川と下八箇荘水路では「人の健康の保護に関する項目（カドミウム等25項目）」について環境基準に適合していました。「ダイオキシン類に関する項目」について、底質では環境基準に適合していました。水質では古川が環境基準に不適合でしたが、上水道水源としての利用はなく、現時点では健康被害の恐れはないと考えられます。今後も引き続き調査を続けていく予定です。

		生活環境の保全に関する項目※1				ダイオキシン類に関する項目	
項目		水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD) ※2	溶存酸素量(DO)	浮遊物質量(SS)	ダイオキシン類水質	ダイオキシン類底質
環境基準		6.5以上 8.5以下	5 mg/L以下	5 mg/L以上	50 mg/L以下	1 pg-TEQ/L	150 pg-TEQ/g
水域名	古川	6.9～7.4	6.3 mg/L	4.4 mg/L	5.3 mg/L	1.1 pg-TEQ/L	27 pg-TEQ/g
	下八箇荘水路	7.4～9.0	8.1 mg/L	7.9 mg/L	9.8 mg/L	0.51 pg-TEQ/L	50 pg-TEQ/g

※1 …生活環境の保全に関する環境基準が適用されるのは古川のみ。

※2 …BODは、年間測定値のうち低い方から75%に相当する値で環境基準と比較するため年間75%水質値を示した。そのほかの値は年平均値。

令和6年度土壤汚染の状況

市内3箇所の公園にて土壤測定を行った結果、全て環境基準に適合していました。

		ダイオキシン類 土壤
環境基準		1000 pg-TEQ/g
公園名	中町公園	0.79 pg-TEQ/g
	弁天池公園	8.1 pg-TEQ/g
	三ツ島公園緑地	3.1 pg-TEQ/g